

学 習 計 画

(学年 3年) (科目名 古典B)

学 期	学 習 項 目	学 習 内 容 ・ 方 法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御伽草子『一寸法師』 ・ 古典文法 動詞・形容詞・形容動詞・助動詞（過去・完了） ・ 三大随筆『枕草子』『大蔵卿ばかり』『雪のいと高う降りたるを』（『方丈記』『徒然草』の復習） ・ 『今物語』『うしろむき』 ・ 古典文法 助動詞（打消・受身・尊敬・自発・可能・使役・尊敬） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 御伽草子を読み、古文の読み方の基礎を確認する。 ・ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。〔学習指導要領イ〕 ・ 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。〔学習指導要領ア〕 ・ 「枕草子」を読んで、宮廷生活の様子をとらえる。 ・ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。〔学習指導要領ウ〕 ・ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。〔学習指導要領エ〕
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『義経記』『静の白拍子』 ・ 古典文法 助動詞（推量・打消推量・推定・伝聞） ・ 百人一首の恋の歌『百人一首』 ・ 『今昔物語集』『阿蘇の史、盗人にあひてのがるること』 ・ 『曾根崎心中』『道行』 ・ 古典冒頭選 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の表現の特色をとらえて、優れた表現に親しむ。 ・ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。〔学習指導要領イ〕 ・ 登場人物の感情を的確に読み取る。感情を的確に読み取る。 ・ 和歌に表れた人間の考えや感情を読み取り、ものの見方、考え方を広げたり深めたりする。 ・ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。〔学習指導要領エ〕 ・ 近世の作品を読み、物語と文学史の広がりを知る。 ・ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。〔学習指導要領ウ〕 ・ 著名な作品の冒頭分を繰り返し音読し、暗唱する。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『源氏物語』『桐壺』 ・ 古典文法 助動詞（断定・希望・比況）・助詞 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「源氏物語」を読み、人物の心情を的確に理解する。「源氏物語」の特色を理解し、内容への関心を高める。 ・ 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。〔学習指導要領ア〕 ・ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。〔学習指導要領イ〕